

# 収益競争力の短期改善にむけた コスト構造改革の考え方とアプローチ

～3 大要素：物件費、人件費、サービスレベルコスト への分解と改革による収益改善策～

■ 日 時 ■ 2016 年 4 月 25 日 月曜日 13:00 ～ 17:00

■ 会 場 ■ 東京・麹町 一般社団法人 企業研究会 セミナールーム

■ 講 師 ■ A.T.カーニー株式会社 パートナー 野田 武 氏

戦略オペレーションプラクティスのリーダーの一人。東京大学・同大学院卒 工学修士、ペンシルバニア大学経営大学院ウォートン校卒 MBA with Distinction (成績優秀賞)  
大手エンジニアリング・建設会社を経て A.T. カーニー入社、2009 年より現職  
戦略的な視点からのオペレーション改革を目指して、多数の企業に対してコンサルティングを実施し、顧客企業に「目に見える成果」を実現している。全社・事業戦略の立案、オペレーション戦略立案及び改革の実施（調達、生産、マーケティング、営業、SCM）、グループ経営管理の高度化などのプロジェクト経験多数  
著書に「最強の調達戦略」、「最強のコスト削減」、「最強の業務改革」

## ■ 本セミナー開催の背景 ■

激変する経営環境の中で収益を確保するための経営改善アプローチとして、儲からない事業から儲かる事業へと経営資源のシフトを行う事業構造改革が行われます。いわゆるポートフォリオ経営というものです。

しかしながら、事業構造改革だけでは競争に勝ち残るための経営改革としては十分とはいえません。絞り込んだ事業の中で更なる収益の向上を目指す場合、あるいは、事業構造の転換が容易に進められない場合には、事業の中身に踏み込んだコスト構造改革を行うことが必要です。

また、事業構造改革を行うか否かの判断のためにも、既存事業の収益がどこまで改善可能なのかを把握することが必要であり、コスト構造改革と一体となった検討が必須です。

本セミナーでは、収益競争力を短期間で改善するためのアプローチとして、コスト構造改革を、事例を交えながら解説していきます。

**コスト構造を俯瞰して、3つの大きな要素、物件費、人件費、サービスレベルコストに分解し、短期収益改善のアプローチを、機能横断的な視点を交えて考えていきます。** 調達改革、業務改革、利益の見える化によるサービスレベルの最適化などの具体的アプローチについて解説するとともに、全社変革のための一連の改革取り組み事例も紹介します。全社収益の更なるストレッチを目指す CFO、経営企画、経営管理部門の方々に有効な内容です。

## ● 参加要領 ●

### ● 受講料 ● 1名 (税込み、資料代含む)

|     |          |               |
|-----|----------|---------------|
| 正会員 | 32,400 円 | 本体価格 30,000 円 |
| 一般  | 35,640 円 | 本体価格 33,000 円 |

● 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日 1 週間～10 日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

● 申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

● 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問] をご参照下さい。

● 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会  
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp  
〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2  
麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951

|              |  |                                |  |
|--------------|--|--------------------------------|--|
| 161184-0112※ |  | 16・4・25 収益競争力の短期改善・コスト構造改革の考え方 |  |
| 会社名          |  |                                |  |
| 住所           |  | 〒 -                            |  |
| TEL          |  | FAX                            |  |
| 部課<br>役職     |  | フリガナ                           |  |
|              |  | お名前                            |  |
| e-mail       |  |                                |  |
| 部課<br>役職     |  | フリガナ                           |  |
|              |  | お名前                            |  |
| e-mail       |  |                                |  |

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

13:00

●はじめに

●事業構造改革とコスト構造改革

- 事業構造改革の考え方（ポートフォリオ経営）
- ポートフォリオ経営の落とし穴
- コスト構造改革の必要性和目すべき3つのコスト
  - ◇ 物件費／人件費／サービスレベルコスト
- コスト構造改革による収益改善インパクト

休憩

14:45

休憩

15:00

●物件費：調達改革

- 調達コストにおける未開拓領域： 間接材コスト
- 「間接材コスト」への取り組みのインパクト
- 「間接材コスト」削減の4つの罫
- 「間接材コスト」への具体的な取り組み方

●人件費：業務改革

- 人件費コントロールと業務改革
- 業務改革の二つのアプローチ
- 改革の視点と打ち手
  - ◇ トップダウン： 組織構造／内外製／要員管理のPDCA
  - ◇ ボトムアップ： アウトプット／プロセス／インプット
- 具体的な進め方と人材の出口戦略

●サービスレベルコスト：利益の見える化を起点とした価格・サービスレベルの適正化

- サービスレベルコストとはなにか？
- 顧客別収益の見える化と利益改善の考え方
- 利益の見える化の論点と具体的アプローチ
- サービスレベルの最適化の具体的事例

休憩

●コスト構造改革を通じて見えてくる経営課題

- 機能子会社の存在意義とグループ経営効率

●コスト構造改革を進めるための大工程

- 経営改革の大工程の考え方
- プロジェクト事例の御紹介
  - ◇ 順次実行型／機能横断一気呵成型

●簡易診断の御案内

《質疑応答・ディスカッション》

17:00

終了

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。